

# 金華山 & モネの池

[ ※ 実施日—2024年07月9日(火) ]



(ハイライトシーン)

※ 弥生班 計10名

① (岐阜公園の信長像の前)



② (めい想の小径を行く)



③ (見晴らしの良い山腹)



⑥ (岐阜城からの展望)



⑤ (山頂の手前の急登)



④ (山腹から見上げた岐阜城)



⑦ (歴史資料館で斉藤道三に見入る)



⑨ (岐阜城をバックに)



⑧ (岐阜城をバックに)



⑩ (名もない池—通称:モネの池)



⑪ (モネの池の睡蓮と鯉)



# 金華山・モネの池

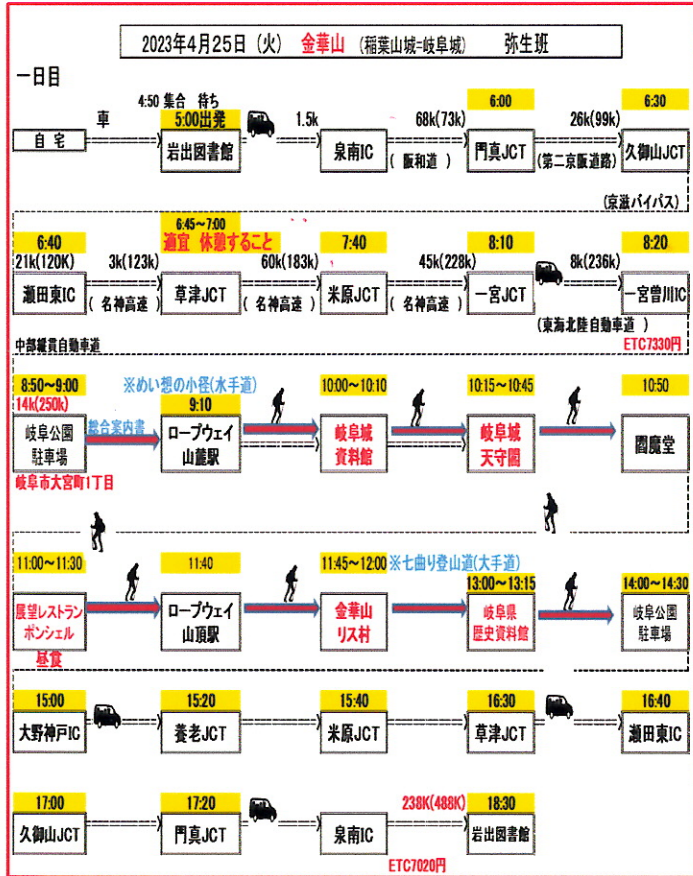
# 紀峰山の会 (弥生班)

(メンバー) -----計 10名

楠部、木村、中濱、河原、岡本、  
八木、上畑、有本、五所尾、岩見

※(山行日) ---- 2024年7月9日

※(行程) [予定]



※[はじめに]

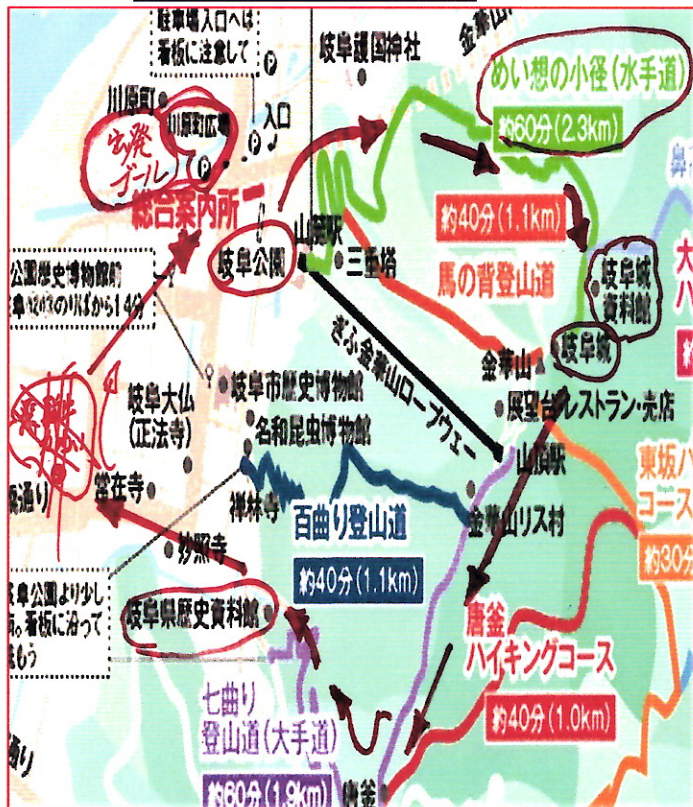
(金華山)

- 金華山 (きんかざん) は、岐阜県岐阜市にある標高 329m の山。旧称 **稲葉山** (いなばやま)。
- 金華山の名は、5 月上旬に「ツブラジイ」の黄色い花が山を彩り「**黄金色**」に見えたことが由来といわれ、ツブラジイは岐阜市の木として指定されています。
- 鎌倉時代から山城が置かれた山で、戦国時代に斎藤道三が本格的に城を整備し、1567 年 (永禄 10 年) に織田信長がそれを奪取して小牧山城の後の本拠地、天下統一を開始する場所として拡張整備し、山中にも砦が置かれて山全体が岐阜城の縄張りとなり、西麓の楓谷 (けやきだに) には城主の館が置かれた。
- 2011 年 (平成 23 年) 文化財保護法に基づき「**岐阜城跡**」として国の史跡に指定された。

(モネの池)

- モネの池は根道神社参道脇にある貯水池。高賀山の伏流水を利用して 1980 年頃に灌漑用に整備された人口の池。
- 1999 年頃、池の近くで花苗の生産販売するフラワーパーク板取の経営者が睡蓮を植えたり、地元住民がコイを入れた等の経緯があります。その後、2015 年頃、SNS の発達もあり情報が一気に拡散し観光客が激増する要因となりました。もともと観光目的で作られた池ではなく、偶然が重なって現在の池となったとのことです。

(金華山ロードマップ)



(写真1) (岐阜公園の信長像の前で)



(写真2) (準備体操)



・いつもの通りのラジオ体操とミーティングで、安全山行の打合せを行う。

(写真3) (めい想の小径を行く)



(参考)

金華山への登山コースは沢山ある。

- ・めい想の小径
- ・馬の背登山道
- ・百曲り登山道
- ・七曲り登山道
- ・他にも裏山からのハイキングコースがある。

(写真4) (めい想の小径で)



・めい想させられる看板

(写真5) (急登を進む)



- ・思った以上に急登がある。
- ・参道はよく整備されており、登山客も多い。

(写真6) (見晴らしの良い山腹)



- ・岐阜市内の眺めがよい。

(写真7) (中腹から見上げた岐阜城)



(写真 8) (岐阜城からの展望)



・岐阜市内と長良川が一望でき、爽快感がある。

(写真 9) (歴史資料館で)



・歴史の人--斉藤道三に見入るメンバー。

(写真 10) ( )



・歴史の人—織田信長とともに---

(写真 11) (岐阜城をバックに)



(写真 12) (飛騨牛グルメ)



・昼食は岐阜市内の馬喰一代の飛騨牛を堪能

(写真 13) (名もなき池-通称:モネの池)



(写真 14) (モネの池の睡蓮と鯉)



※(最後に)

- 山頂からは岐阜市内と長良川が一望でき、岐阜城では金華山の歴史と戦国時代の資料を散策し、又、下山後の昼食は、飛騨牛専門店でもコース料理を堪能。
- モネの池へは1時間以上の移動となったが、ひっそりとした山間に沢山の観光客があった。ちょうど睡蓮の花が咲き、大きな鯉とのコントラストが目の保養になりました。
- 今回の山行は、歴史探訪と観光、グルメの楽しい旅ができました。